

# 2号機使用済燃料取り出しに向けた検討状況について

2020年11月26日



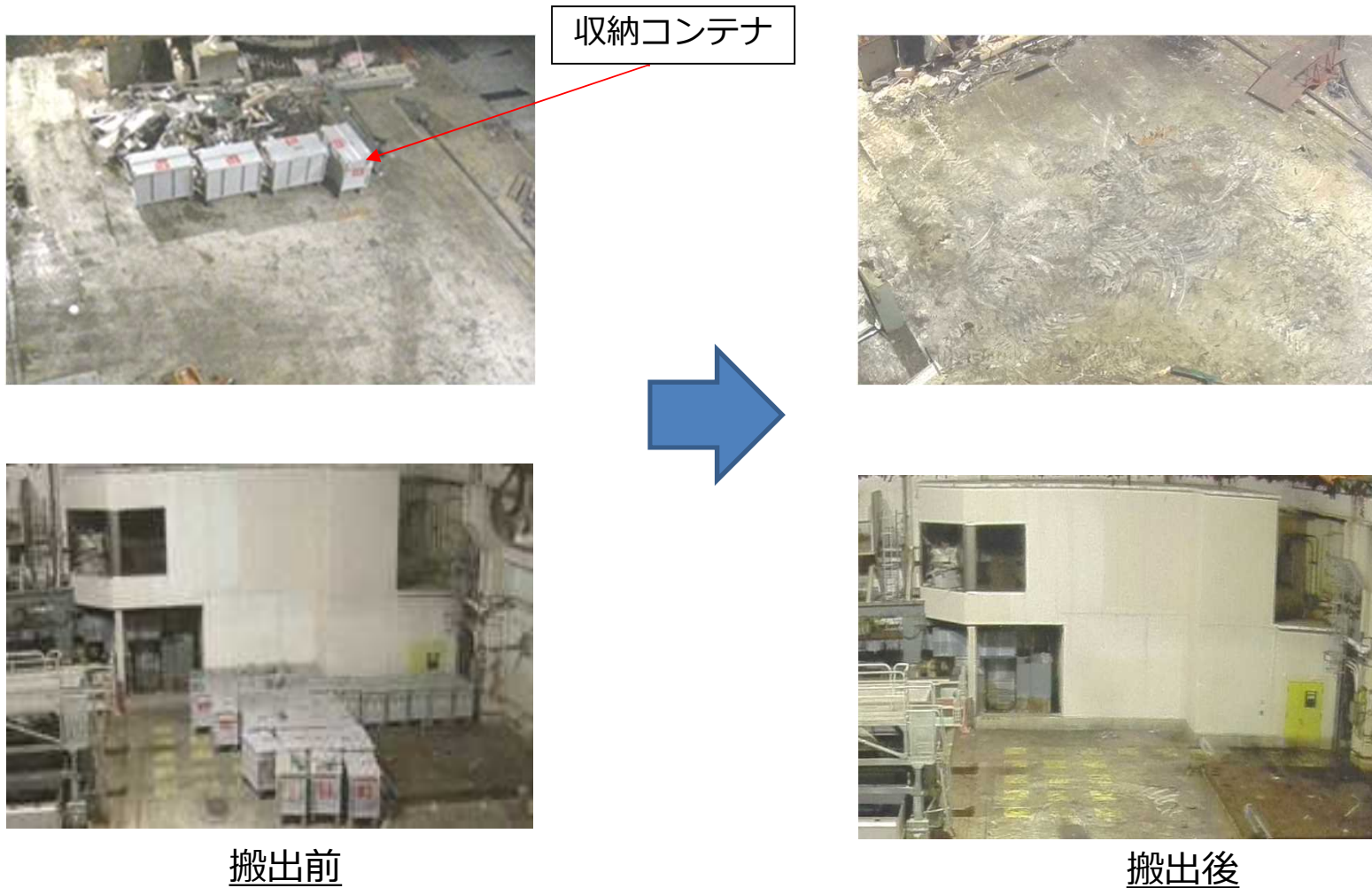
東京電力ホールディングス株式会社

I. 2号機原子炉建屋オペフロ作業の進捗状況について

II. 実施計画申請に向けた対応状況について

# 1 - 1. 2号機原子炉建屋オペフロ作業の進捗状況について

- 2020年8月から、2号機原子炉建屋オペレーティングフロア(以下、オペフロという)内の残置物を収納したコンテナ(1m<sup>3</sup>)の搬出作業を実施しており、昨日(11月25日)時点で47基を搬出完了した。今後、使用した重機の片付け作業を12月上旬頃まで実施する。

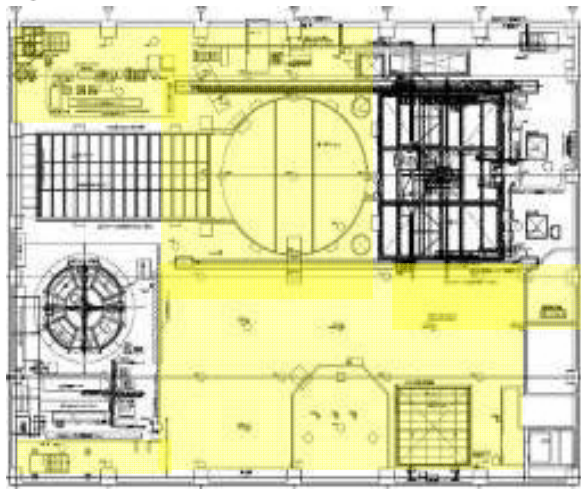


## 1 - 2. オペフロ調査の計画

- 今回、残置物撤去が完了し環境が変化することから、線量評価及び線量低減対策の精度向上を目的として調査を12月から実施する。

### 調査内容

- ✓ 空間線量率測定（床高さ：約1.5m）
- ✓ γカメラ撮影（オペフロ全域）
- ✓ 表面汚染測定（床面，壁面：床高さ約1.5m）



■ 今回調査範囲  
(壁面：約1.5mの高さを調査)

### 調査に用いる遠隔操作機器

調査に用いる遠隔操作機器			
遠隔操作機器	 BROKK400D	 Kobra	 Packbot
役割	γカメラ測定	・ 空間線量率測定，表面汚染測定 ・ 調査助勢	

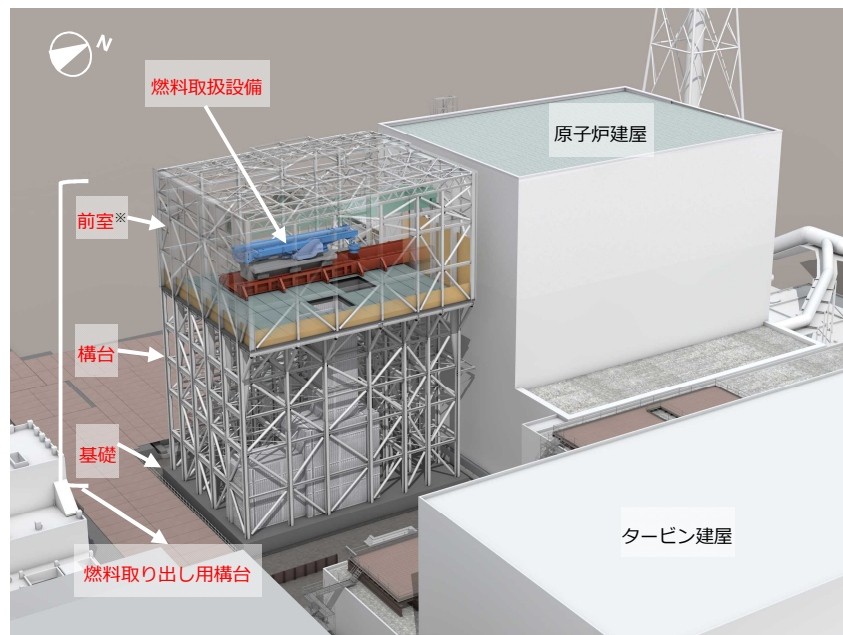
I. 2号機原子炉建屋オペフロ作業の進捗状況について

II. 実施計画申請に向けた対応状況について

## 2-1. 実施計画申請対象設備

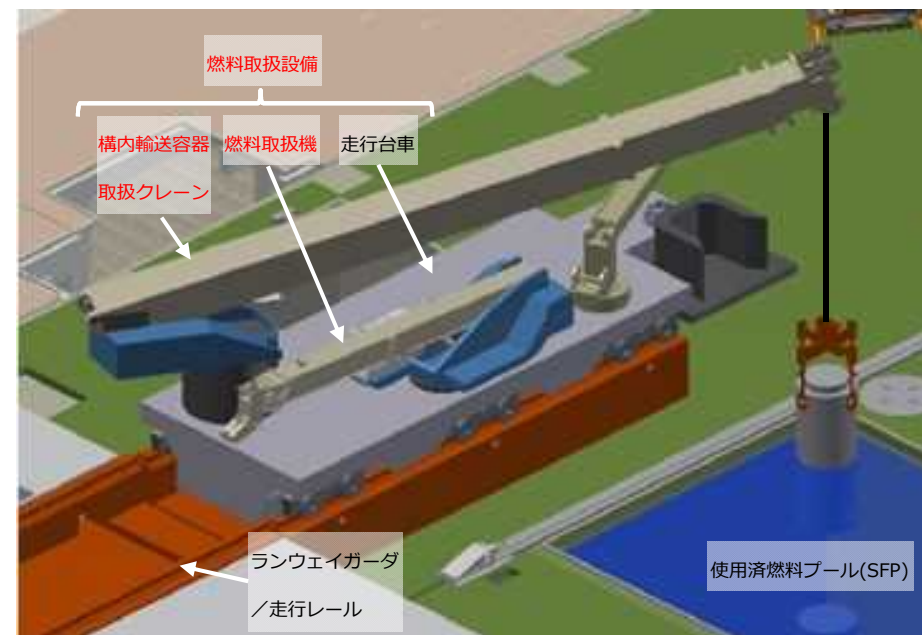
- 原子炉建屋上部を全面解体せず，原子炉建屋南側に**燃料取り出し用構台**を構築し，原子炉建屋南壁に設ける小開口から**燃料取扱設備**を出し入れすることで，燃料取り出しを行う。
- 原子炉建屋オペフロ及び燃料取り出し用構台前室から放射性物質の飛散抑制のため**換気設備** 放射性物質の濃度監視のため**ダスト放射線モニタ**を設置する。
- 作業員の放射線防護の観点から，**エリア放射線モニタ**を設置する。

赤字：実施計画申請対象



**燃料取り出し用構台構成図**

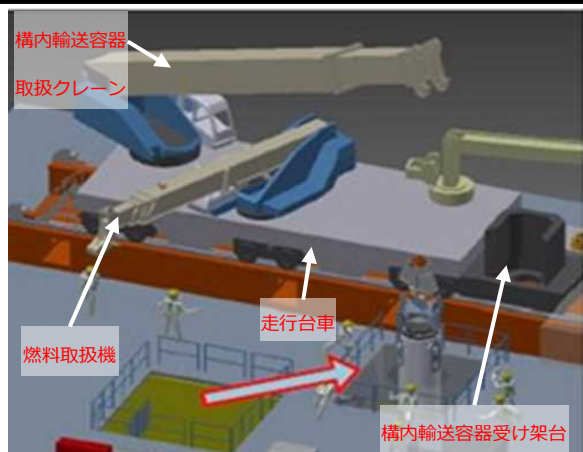
※前室外壁：金属系パネル 前室屋根：金属系折板



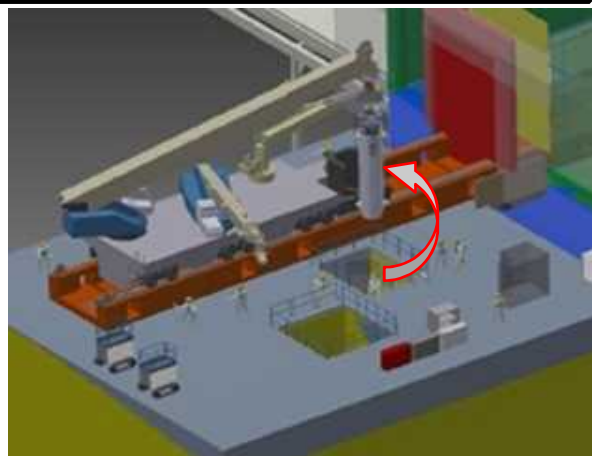
**燃料取扱設備構成図**

## 2-2. 燃料取り出し手順

①燃料取り出し用構台へ構内輸送容器を搬入



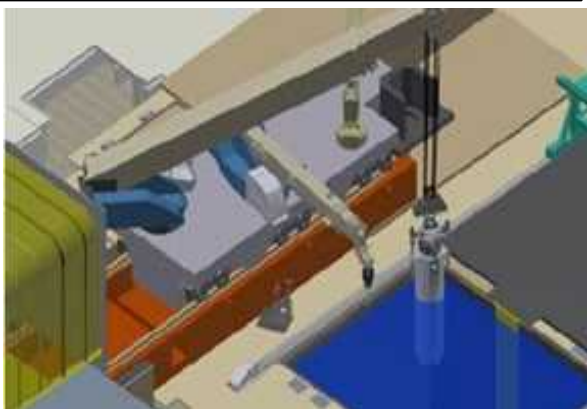
②走行台車へ構内輸送容器を積載



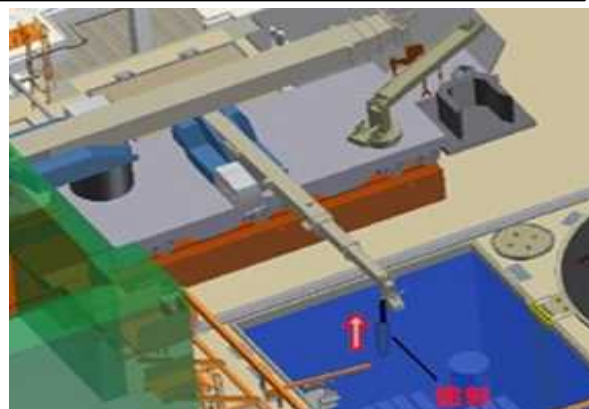
③汚染拡大防止ハウスを展開し  
原子炉建屋へ移動



④構内輸送容器取扱クレーンで構内  
輸送容器をキャスピットへ移動



⑤燃料取扱機で燃料を構内輸送容器へ  
移動

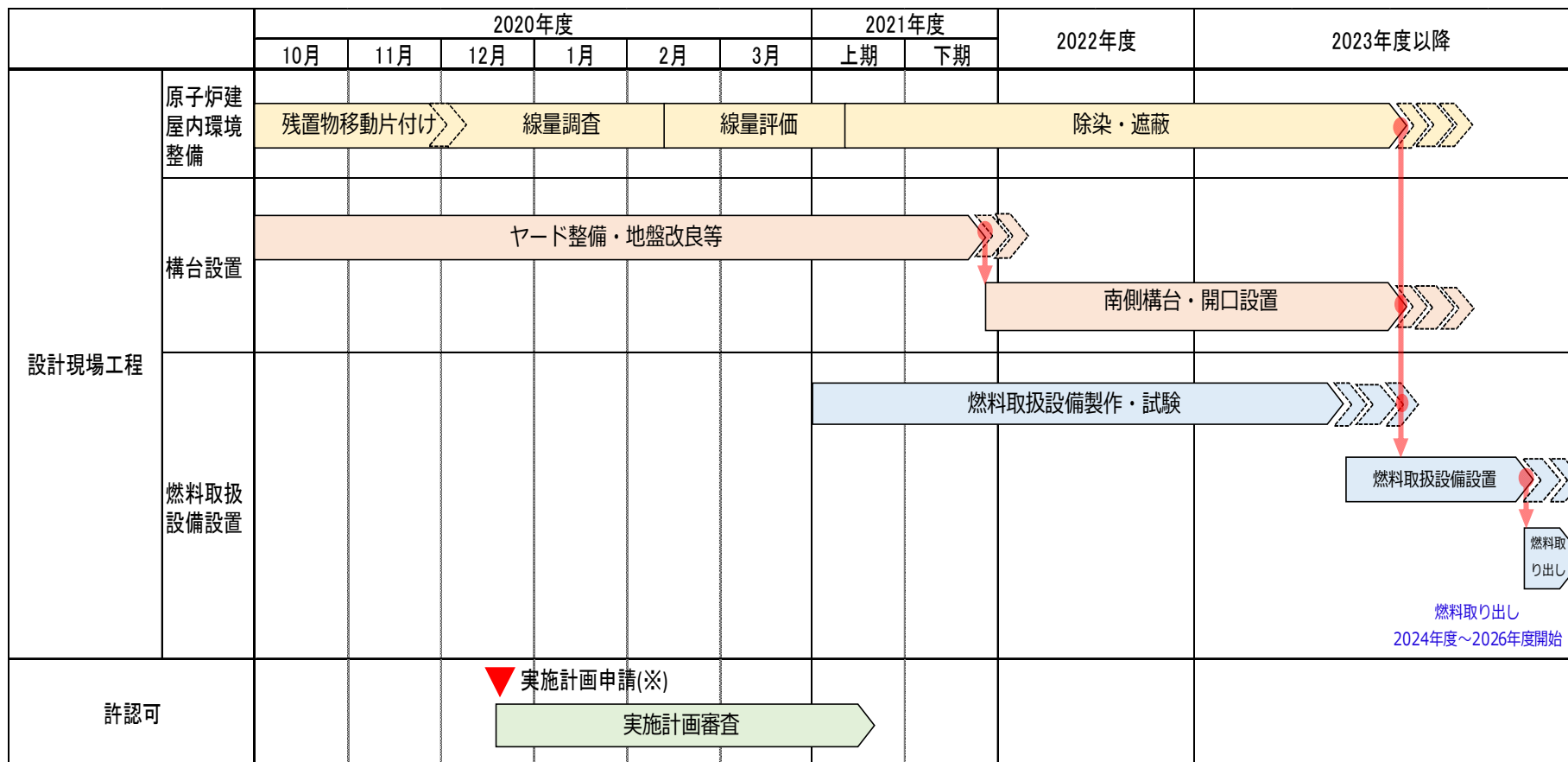


⑥燃料が格納された構内輸送容器を  
走行台車へ搭載  
⇒燃料取り出し用構台に戻る



## 2-3. 今後の全体スケジュール

- 2号機使用済燃料プールからの燃料取り出しに向けて、燃料取り出し用構台設置及び燃料取扱設備の実実施計画変更申請を2020.12頃に予定。



※今回の申請は機器・建屋の設計・製造・設置に関する申請であり、構内輸送容器、燃料取り出し作業については、別途申請予定。